

令和3年度 決算概要について

令和4年10月26日

福島市水道局

令和3年度決算（対前年度決算比較）

（1）収益的収入及び支出

（単位 円、税込）

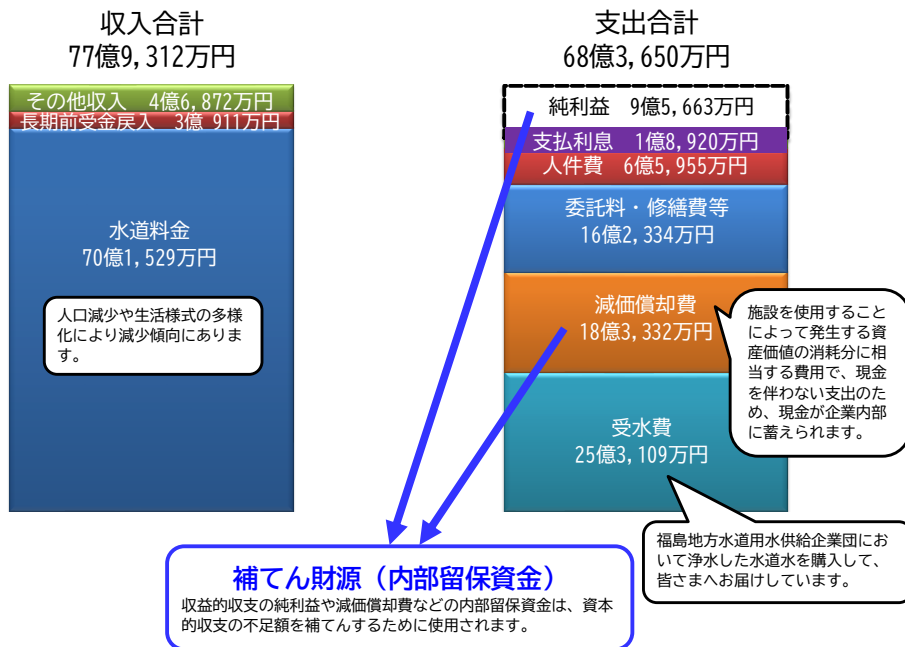
	区 分	3年度決算額	2年度決算額	比較増（△）減	増減率（％）	備 考
収 入	水道事業収益	7,793,121,065	7,815,624,523	△ 22,503,458	△ 0.3	
	営業収益	7,182,706,299	7,215,531,569	△ 32,825,270	△ 0.5	水道料金収入の減
	営業外収益	564,671,913	599,283,933	△ 34,612,020	△ 5.8	長期前受金戻入の減
	特別利益	45,742,853	809,021	44,933,832	5,554.1	R3年度は令和3年福島県沖地震に伴う国庫補助金44,803,000円による特別利益あり
支 出	水道事業費用	6,836,495,616	7,020,080,221	△ 183,584,605	△ 2.6	
	営業費用	6,471,068,877	6,684,721,451	△ 213,652,574	△ 3.2	修繕費、施設解体工事に係る資産減耗費等の減
	営業外費用	360,501,280	335,012,998	25,488,282	7.6	
	特別損失	4,925,459	345,772	4,579,687	1,324.5	R3年度は令和3年福島県沖地震及び令和4年福島県沖地震に伴う災害復旧費 3,726,600円を含む
税込当年度純利益		956,625,449	795,544,302	161,081,147	20.2	
（参考）税抜当年度純利益		822,166,701	622,537,954	199,628,747	32.1	
うち補てん財源充当可能額		513,058,383	261,957,353	251,101,030	95.9	

(2) 資本的収入及び支出

(単位 円、税込)

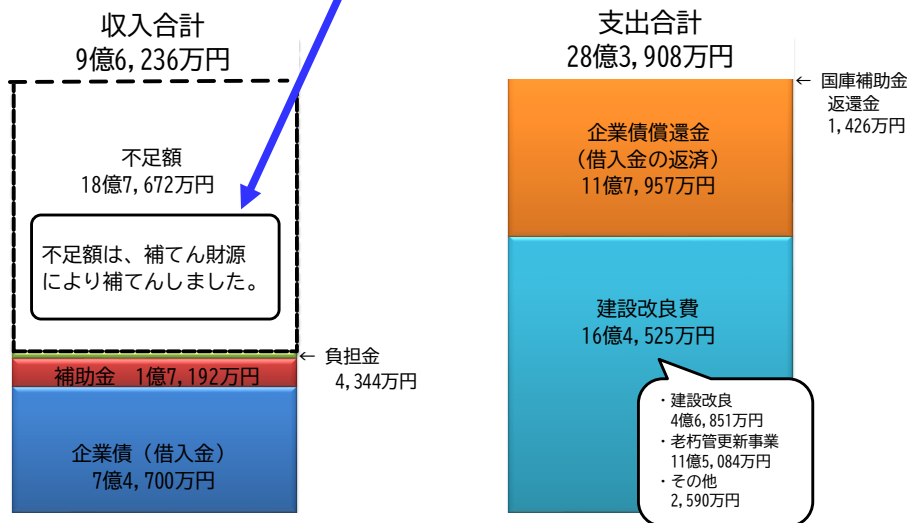
	区 分	3年度決算額	2年度決算額	比較増(△)減	増減率(%)	備 考
収 入	資 本 的 収 入	962,357,577	1,019,127,508	△ 56,769,931	△ 5.6	
	企 業 債	747,000,000	785,500,000	△ 38,500,000	△ 4.9	建設改良費に伴う企業債借入の減
	補 助 金	171,924,653	193,830,358	△ 21,905,705	△ 11.3	建設改良費に伴う国庫補助金の減 ※R2年度は前年度からの補助繰越分を含む
	負 担 金	43,432,924	39,797,150	3,635,774	9.1	工事負担金(下水道工事等)の増
支 出	資 本 的 支 出	2,839,082,006	3,243,962,687	△ 404,880,681	△ 12.5	
	建 設 改 良 費	1,645,252,907	2,076,400,501	△ 431,147,594	△ 20.8	老朽管更新事業費の繰越等による減
	企 業 債 償 還 金	1,179,566,129	1,160,142,447	19,423,682	1.7	
	国庫補助金返還金	14,262,970	7,419,739	6,843,231	92.2	前年度からの補助繰越分を含むため増 ※税込で交付された国庫補助金の消費税相当額を返還
資 本 的 収 支 不 足 額		1,876,724,429	2,224,835,179	△ 348,110,750	△ 15.6	
補 て ん 額	過年度分損益勘定留保資金	1,745,980,716	1,655,600,936	90,379,780	5.5	
	減 債 積 立 金	0	400,000,000	△ 400,000,000	皆減	
	当年度分消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	130,743,713	169,234,243	△ 38,490,530	△ 22.7	

《収益的収支》 水道料金などの収入と、水道水を購入し販売する経費や漏水の修繕費用などの支出



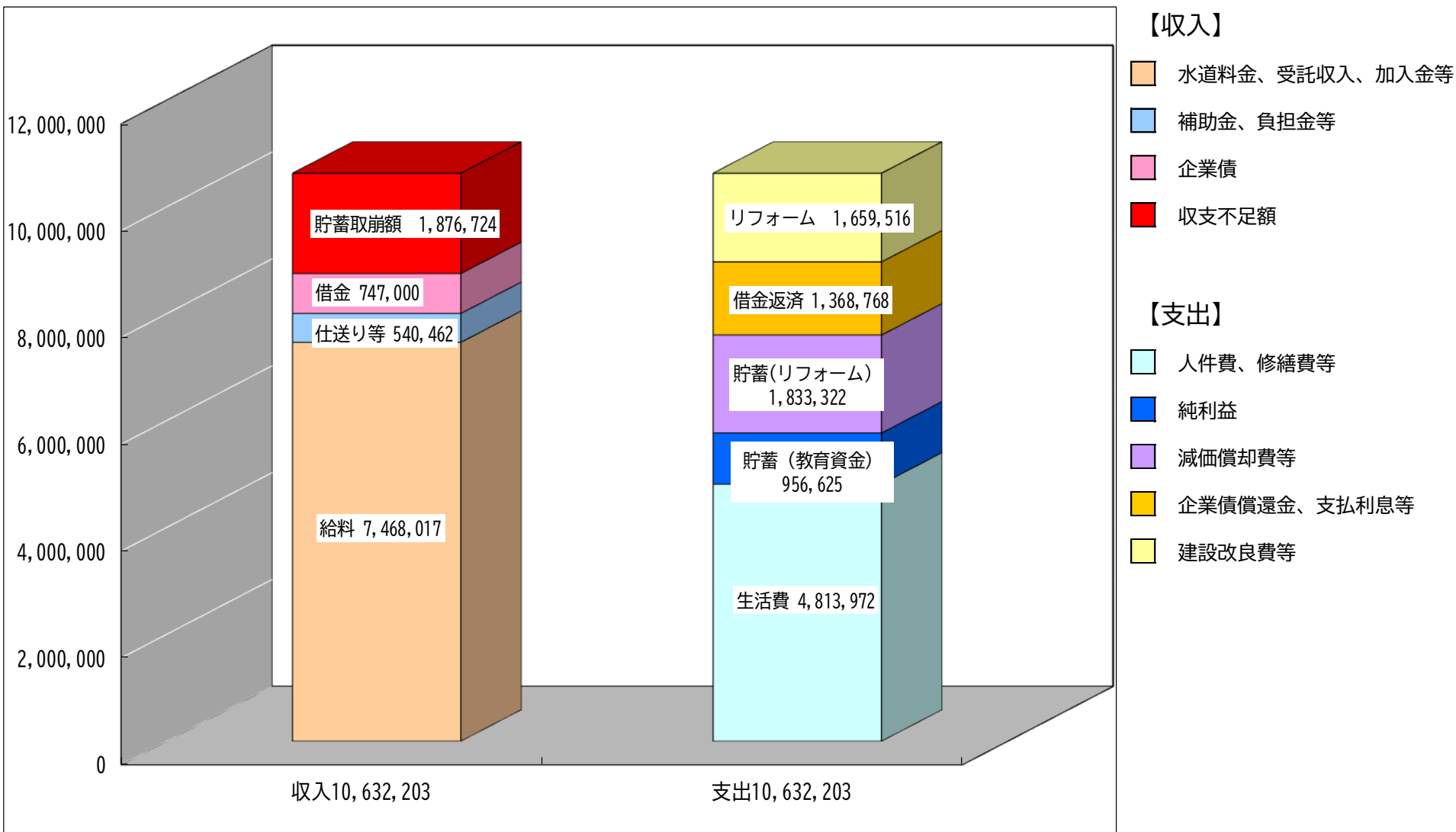
資料2をご覧ください。

《資本的収支》 老朽管の更新など水道施設の建設・改良に関する収入と支出



令和3年度決算 家計置き換えグラフ

(単位 千円、税込)



令和3年度決算について

令和3年度の決算は前年度比較において、人口減少やコロナ禍における生活への慣れなどによる家庭用水量の減少が大きく影響し、給水収入が減少したものの、廃止施設の大規模撤去工事がなかったことなどにより費用が減少し、純利益は約2億円の増となった。

今後においても、給水人口の減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、給水収益は減少が見込まれる一方で、維持管理に係る修繕工事、廃止施設解体工事の実施などにより支出は高止まり、経営状況についても引き続き厳しくなるものと思慮されるため、社会動向の変化を注視しながら、将来にわたり持続可能な水道事業の確立に努めていく。

業務実績表より

3.	現在給水人口	275,111人
	前年度比較	2,308人の減
4.	給水戸数	128,455戸
	前年度比較	594戸の増
9.	年間総配水量	29,943,576m ³
	前年度比較	206,238m ³ の減
11.	年間総有収水量	26,869,515m ³
	前年度比較	341,157m ³ の減
	※有収水量とは、料金徴収の対象となった水量のこと。	
※	水道料金収入	6,378,065,085円
		32,354,612円の減
16.	有収率	89.7%
	前年度比較	0.6ポイントの減

逆転現象

給水人口と給水戸数の逆転現象について

少子高齢化等により人口が減少したことに加え、核家族化の進行による1世帯当たりの構成人数の減少や1人暮らしの世帯の増加が続いている。



基本料金と従量料金の割合の変化

(単位：円、税抜)

	令和3年度 (A)	令和2年度 (B)	比較増減 (A-B)
基本料金収入	2,747,048,375	2,724,329,225	22,719,150
従量料金収入	3,631,016,710	3,686,090,472	△ 55,073,762
合計	6,378,065,085	6,410,419,697	△ 32,354,612

コロナ禍における水量の推移について

(1) 段階別水量比較

水量料金 税抜	令和2年度	令和3年度	比較増減	増減率
第1段階 (1~10m ³ 、84円/1m ³)	12,374,488m ³	12,367,746m ³	△6,742m ³	△0.1%
第2段階 (11~20m ³ 、129円/1m ³)	6,568,938m ³	6,443,188m ³	△125,750m ³	△1.9%
第3段階 (21~50m ³ 、192円/1m ³)	3,737,696m ³	3,569,002m ³	△168,694m ³	△4.5%
第4段階 (50m ³ 以上、247円/1m ³)	4,477,620m ³	4,437,102m ³	△40,518m ³	△0.9%

※第1～4段階すべての水量について減少している。

コロナ禍における水量及び水道料金について

(2) 業態別比較

(単位：m³、円、税抜)

業 態 別	実 績				比較増減			
	令和2年度		令和3年度		水量	対比	水道料金	対比
	水量	水道料金	水量	水道料金				
家庭	20,853,294	4,707,422,470	20,589,512	4,684,001,692	△ 263,782	△ 1.3	△ 23,420,778	△ 0.5
学校	493,804	147,822,367	501,906	148,391,016	8,102	1.6	568,649	0.4
官公及び公共施設	724,310	215,201,603	713,288	215,543,329	△ 11,022	△ 1.5	341,726	0.2
会社・事務所	651,526	199,869,657	644,446	199,746,939	△ 7,080	△ 1.1	△ 122,718	△0.1
製造業	735,048	186,988,077	759,298	190,319,233	24,250	3.3	3,331,156	1.8
卸・小売業	503,594	135,783,454	492,298	132,856,308	△ 11,296	△ 2.2	△ 2,927,146	△2.2
サービス業	2,182,594	551,326,143	2,140,342	547,568,578	△ 42,252	△ 1.9	△ 3,757,565	△0.7
病院	717,444	182,028,341	682,946	176,747,798	△ 34,498	△ 4.8	△ 5,280,543	△2.9
多目的ビル	275,866	74,565,039	271,598	73,153,519	△ 4,268	△ 1.5	△ 1,411,520	△1.9
その他	67,054	9,412,546	67,272	9,736,673	218	0.3	324,127	3.4
合 計	27,204,534	6,410,419,697	26,862,906	6,378,065,085	△341,628	△1.3	△32,354,612	△0.5

水道料金収入の減少

(単位 千円)

